

令和5年度 事務事業評価シート（1）

[令和4年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	放課後子ども総合プラン事業			事業番号	038-079
担当部署名	教育委員会事務	局	地域教育支援	部	放課後子ども支援課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ~Children's future~	施策	(1) 妊娠から学齢期まで切れめのない子育て支援の充実
		寄与するKPI	有	取組の方向性	③学齢期・青少年期の子ども・若者と家庭への支援		
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	指標名	放課後児童対策等事業にかかる待機児童数		
		寄与するKPI	有	現状値	2人(2020年度)	目標値	0人(2025年度)
			有・無	ゴール	—	ターゲット	—
			無	取組	—		
			有・無	指標名	—		
			無	現状値	—	目標値	—
2	関連計画	堺市子ども・子育て支援事業計画、堺市教育大綱、第3期未来をつくる堺教育プラン					
3	事業開始年度	平成 23 年度		点検対象年度	令和 7 年度		
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	児童福祉法、堺市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例、放課後子ども総合プラン事業実施要綱					

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁					
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	のびのびルーム：小学校1年生から6年生までの就労家庭児童	対象数	単位			
		すくすく教室：小学校1年生から6年生までの利用を希望する全ての児童	1,430 (のび)	人			
			1,928 (すく)				
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	児童の安全・安心な居場所を確保し、多様な学習・体験活動を行う。					
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	<p>実施校数：21校（令和4年4月時点）</p> <p>■のびのびルーム（厚生労働省所管の「放課後児童クラブ」）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開設時間：月曜日～金曜日（放課後～午後6時30分）、土曜日・長期休業中（午前8時～午後6時30分）（利用時間延長制度利用者のみ、午後7時まで延長） ・負担金：月額8,000円、（利用時間延長制度利用者は、時間延長一部負担金として、別途月額1,000円）（ともに減免制度あり） <p>■すくすく教室（文部科学省所管の「放課後子供教室」）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開設時間：月曜日～金曜日（放課後～午後5時）、土曜日・長期休業中（午前9時～午後5時） ・負担金：月額4,000円（8月のみ6,000円）（減免制度あり） 					
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	—					
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）	(株)セリオ、(株)CLC、(株)トライグループ、(特非)ピュア・ハート御池					
10	公民連携・協働事業	—					

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	目標 点検対象年度
				令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
	待機児童数	人	目標値	0	0	0	0
			実績値	0	0		
			達成率	100%	100%		
	当該指標を選定した理由	待機児童数を発生させないことを目標とし、子育て支援の充実を図るため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	各年度の待機児童数。					
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績		目標	
				令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	定員超過の校数	校	目標値	0	0	0	
			実績値	0	0		
			達成率	100%	100%		
	当該指標を選定した理由	活動場所確保の成果である定員が、各校における利用児童数を上回ることが必要なため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	各校における利用児童数が、活動場所確保の成果である定員を超過した校数。					

令和5年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	放課後子ども総合プラン事業	事業番号	038-079
-------	---------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。 (単位：千円)

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度		令和5年度
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算
事業費 (a)	600,258	638,689	865,491	708,696	833,084
13 財源内訳					
国支出金	162,470	117,756	172,159	158,047	150,109
府支出金	91,696	79,900	103,310	96,513	103,862
市債	0	0	0	0	0
その他 ()	0	0	0	0	0
受益者負担金(使用料、手数料等)	142,224	182,566	232,199	191,941	171,149
一般財源	203,868	258,467	357,823	262,195	407,964
14 人件費 (b)	19,310	19,310	19,310	19,310	19,140
15 年間経費(c)=(a)+(b)	619,568	657,999	884,801	728,006	852,224

事業費の内訳

(単位：千円)

項目	年度	事業費	うち一般財源	項目	年度	事業費	うち一般財源	
								R4
16 事業費内訳	放課後子ども総合プラン事業運営・処遇改善業務	R4	決算 706,818	260,847	手数料	R4	決算 42	28
		R5	予算 828,595	404,495		R5	予算 363	243
	消耗品費	R4	決算 591	395	印刷製本費	R4	決算 184	184
		R5	予算 1,761	1,301		R5	予算 257	257
	その他備品購入費	R4	決算 81	65	施設等修繕料	R4	決算 0	0
		R5	予算 675	451		R5	予算 170	170
小学校冷暖房機及び空調設備保守点検業務	R4	決算 653	349		R4	決算		
	R5	予算 653	437		R5	予算		
通信運搬費	R4	決算 327	327		R4	決算		
	R5	予算 610	610		R5	予算		

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和3年度	令和4年度
① 利用児童数	人	3,332	3,358
② 上記①にかかる年間経費	千円	657,977	728,006
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	197,472	216,798
備考 (算出についての説明等)	—		

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	<p>委託費の大部分は指導員の人件費として運用した。</p> <p>施設等については学校内に専用教室を設け、事業の実施を行うことで施設使用料等の費用を抑えることができています。</p> <p>放課後における児童の健全な育成のため、また、就労家庭における児童の安心・安全な居場所づくりのためには、今後も本事業の継続が必要である。本事業は、国費、府費及び受益者負担金も活用したものであり、市単費で実施していないことから費用対効果は高いと考える。</p>
----	--

KPI等への寄与 (基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか)

19	<ul style="list-style-type: none"> ■ 待機児童数 0 人の実現について 専用教室のほか学校協力のもと共用教室の確保に努め、学校施設の有効活用を行うことで、希望者のすべてが利用可能となり、保護者の就労支援や放課後の児童の居場所づくりを行うことができた。 ■ 利用評価について 令和4年度は全事業の全利用者を対象としたアンケートの実施により、広く利用者の意見等を得ることで、運営事業者に対し各ルームの状況に応じた助言・指導を行うことができた。
----	---